

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第31週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (31 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。  
 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。  
 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 2 例。

|    | 疾患名                 | 報告<br>保健所 | 年齢群  | 性別 | 病型・類型      | 症状等            |
|----|---------------------|-----------|------|----|------------|----------------|
| 2類 | 結核                  | 宮崎市       | 80歳代 | 男  | 結核性胸膜炎     | なし             |
|    |                     | 高千穂       | 50歳代 | 男  | 無症状病原体保有者  | なし             |
| 5類 | カルバペネム耐性<br>腸内細菌感染症 | 延岡        | 60歳代 | 男  | —          | 肺炎             |
|    | 侵襲性肺炎球菌感染症          | 延岡        | 80歳代 | 男  | —          | 発熱、意識障害、肺炎、菌血症 |
|    | 梅毒                  | 都城        | 40歳代 | 男  | 早期顕症梅毒 I 期 | 鼠径部リンパ節腫脹      |
|    |                     | 延岡        | 30歳代 | 男  | 早期顕症梅毒 I 期 | 初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹 |

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,939 人(定点当たり 41.9)で、前週比 84%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は、RS ウイルス感染症、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患は、新型コロナウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 1,152 人(19.9)で、前週比 76%と減少した。延岡(39.0)、高千穂(29.0)、中央(23.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

##### 【RS ウイルス感染症】

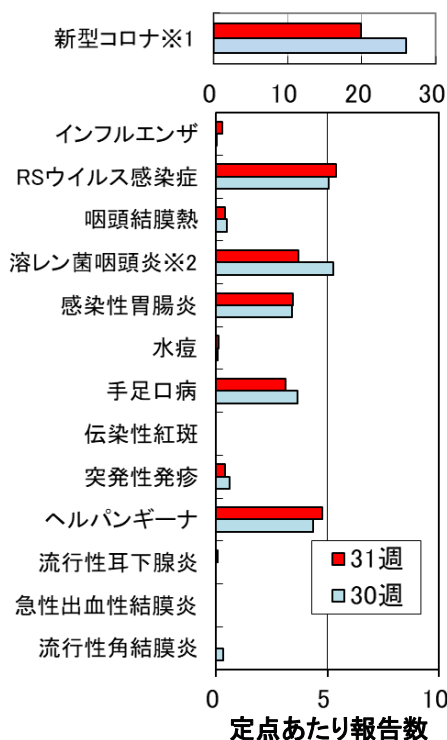
報告数は 193 人(5.4)で、前週比 106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (2.0) の約 2.8 倍であった。中央(20.0)、日向(7.3)、高鍋(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

##### 【ヘルパンギーナ】

報告数は 171 人(4.8)で、前週比 109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (1.4) の約 3.3 倍であった。日南(14.0)、中央(6.0)、宮崎市(5.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

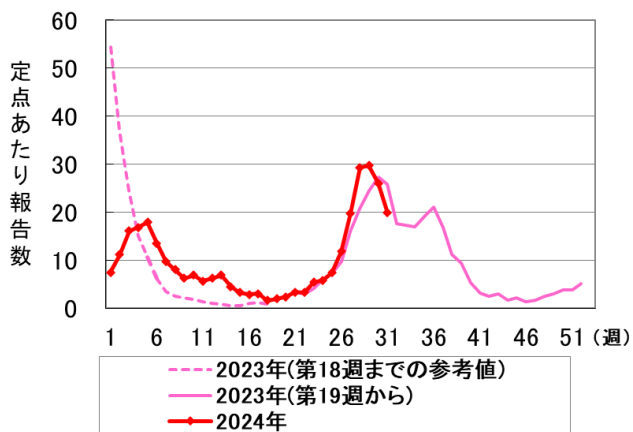
《前週との比較》



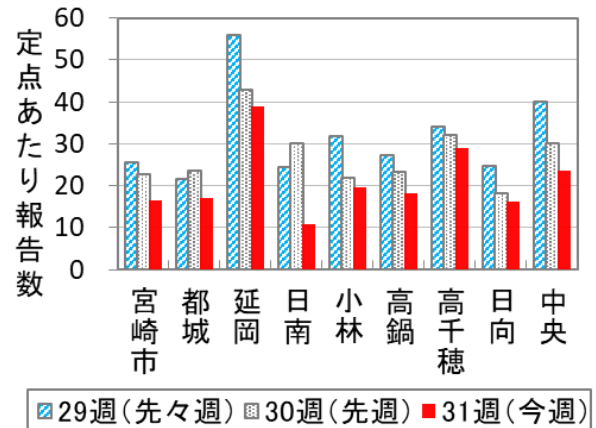
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## 新型コロナウイルス感染症 発生状況

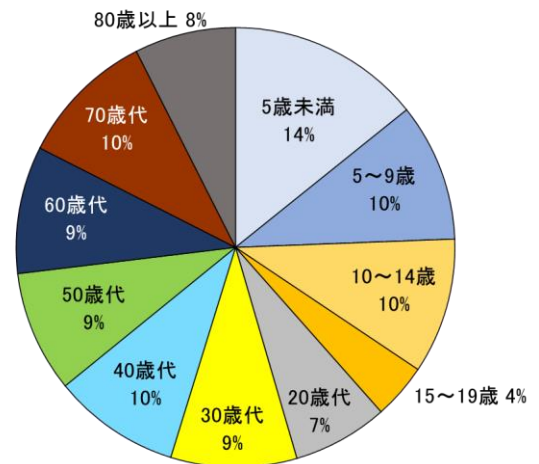


## 新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

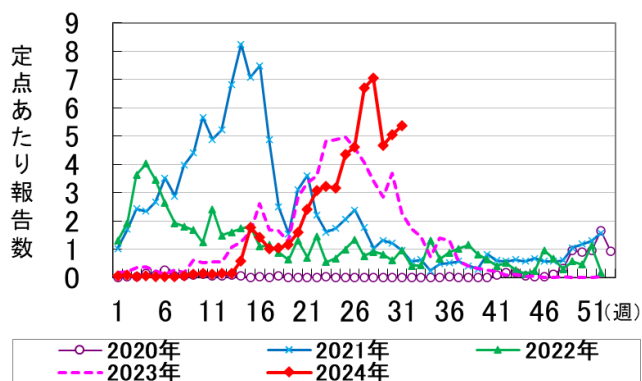


## 新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第31週)

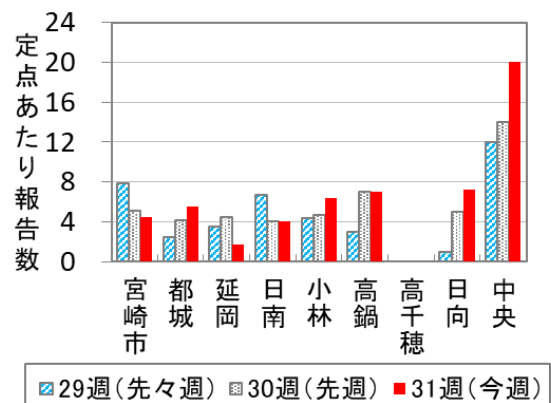
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



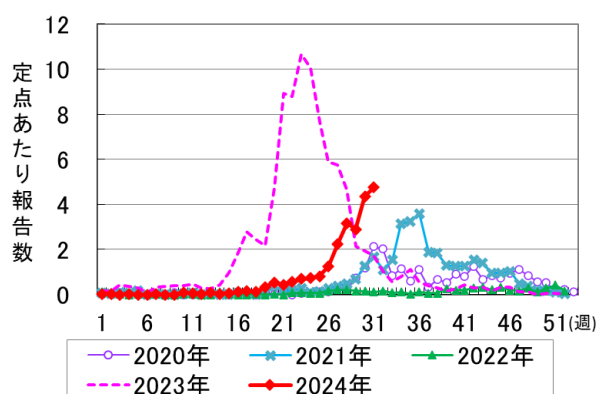
## RSウイルス感染症 発生状況



## RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

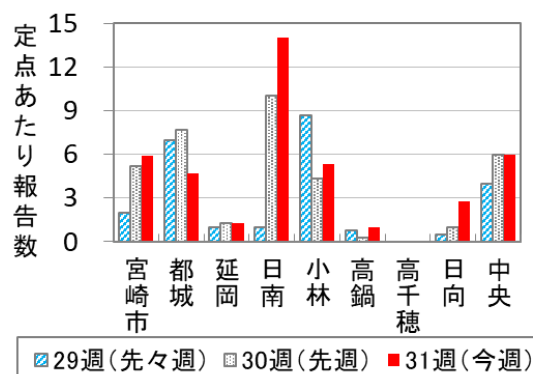


ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ

保健所別推移(3週分)



## ★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：延岡(1例)、高鍋(1例)、日向(1例)保健所から報告があった。年齢はいずれも5～9歳であった。

## ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

| 保健所名 | 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患 |
|------|---------------------|
| 宮崎市  | 手足口病(5.1)           |
| 都城   | なし                  |
| 延岡   | なし                  |
| 日南   | ヘルパンギーナ(14.0)       |
| 小林   | 手足口病(6.3)           |
| 高鍋   | なし                  |
| 高千穂  | なし                  |
| 日向   | なし                  |
| 中央   | ヘルパンギーナ(6.0)        |

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

## □病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年8月5日までに検出）

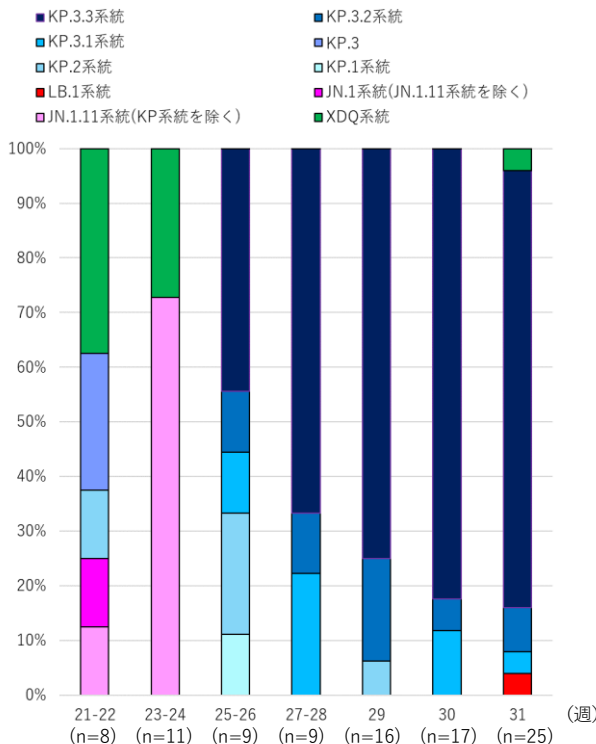
## ★細菌

| 同定細菌名                                     | 年齢(歳) | 性別 | 採取月日       | 臨床症状等    | 検出材料 | 同定日        |
|-------------------------------------------|-------|----|------------|----------|------|------------|
| <i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7) | 90歳代  | 女  | 2024.05.28 | 水様性下痢、嘔吐 | 便    | 2024.06.11 |

## ★ウイルス 報告なし

# □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

## 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第31週ではKP.3系統が92%を占めている。

※KP系統はJN.1.11.1の子孫株で、現在、日本、欧米で流行している。  
ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。  
衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 全国 2024 年第 30 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

|       |                |       |              |       |                 |      |
|-------|----------------|-------|--------------|-------|-----------------|------|
| 1類感染症 | 報告なし           |       |              |       |                 |      |
| 2類感染症 | 結核             | 257 例 |              |       |                 |      |
| 3類感染症 | 細菌性赤痢          | 3 例   | 腸管出血性大腸菌感染症  | 130 例 | 腸チフス            | 1 例  |
| 4類感染症 | E型肝炎           | 5 例   | A型肝炎         | 3 例   | 重症熱性血小板減少症候群    | 3 例  |
|       | デング熱           | 12 例  | 日本紅斑熱        | 5 例   | マラリア            | 1 例  |
|       | ライム病           | 2 例   | レジオネラ症       | 59 例  |                 |      |
| 5類感染症 | アメーバ赤痢         | 7 例   | ウイルス性肝炎      | 1 例   | カルバペネム耐性腸内細菌感染症 | 24 例 |
|       | 急性弛緩性麻痺        | 1 例   | 急性脳炎         | 7 例   | クロイツフェルト・ヤコブ病   | 2 例  |
|       | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 25 例  | 後天性免疫不全症候群   | 15 例  | ジアルジア症          | 2 例  |
|       | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 6 例   | 侵襲性肺炎球菌感染症   | 32 例  | 水痘(入院例)         | 4 例  |
|       | 梅毒             | 187 例 | 播種性クリプトコックス症 | 1 例   | 百日咳             | 58 例 |

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 72,003 人(14.6)で前週比 107%と増加した。佐賀県(31.4)、宮崎県(26.0)、熊本県(25.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 7,104 人(2.3)で前週比 95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.8)の約 2.7 倍であった。福岡県(5.7)、鳥取県(5.4)、宮崎県(5.3)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

手足口病の報告数は 37,428 人(11.9)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(3.3)の約 3.6 倍であった。三重県(25.9)、長野県(24.7)、静岡県(20.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

(71 定点医療機関)

2024年 第31週(07月29日～08月04日)

[illegible]

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～31週 保健所受理分)

|       |                |        |                 |       |                |        |
|-------|----------------|--------|-----------------|-------|----------------|--------|
| 2類感染症 | 結核             | 65例(2) |                 |       |                |        |
| 3類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症    | 24例    |                 |       |                |        |
| 4類感染症 | E型肝炎           | 2例     | A型肝炎            | 1例    | 重症熱性血小板減少症候群   | 7例     |
|       | つつが虫病          | 14例    | 日本紅斑熱           | 5例    | レジオネラ症         | 9例     |
| 5類感染症 | アメーバ赤痢         | 2例     | カルバベネム耐性腸内細菌感染症 | 4例(1) | クロイツフェルト・ヤコブ病  | 3例     |
|       | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 10例    | 後天性免疫不全症候群      | 2例    | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 4例     |
|       | 侵襲性肺炎球菌感染症     | 10例(1) | 水痘(入院例)         | 4例    | 梅毒             | 92例(2) |
|       | 播種性クリプトコックス症   | 2例     | 破傷風             | 2例    | 百日咳            | 38例    |

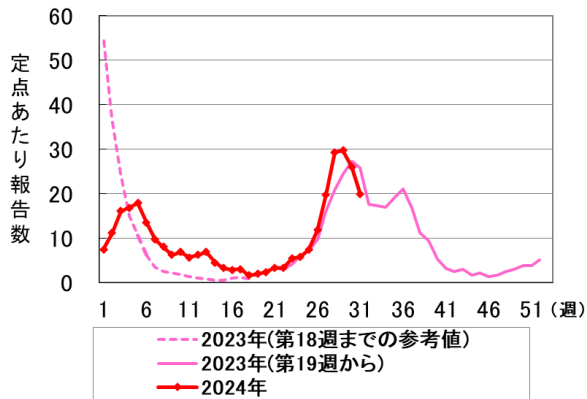
( )内は今週届出分、再掲

## 新型コロナウイルス感染症情報《県内第 31 週、全国第 30 週（再掲）》

### □ 県内第 31 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

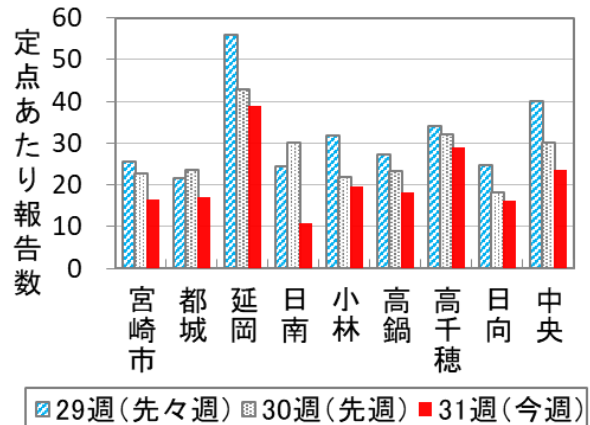
7 月 29 日～8 月 4 日までの 1 週間で 1,152 人(19.9)の報告があった。前週比 76%と減少し、延岡(39.0)、高千穂(29.0)、中央(23.5)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

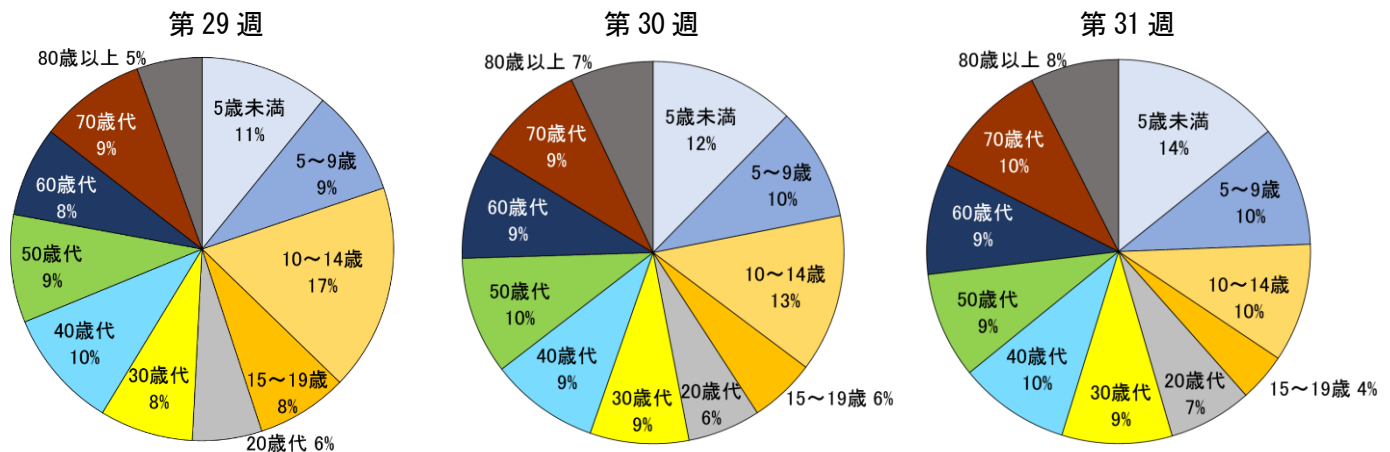


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

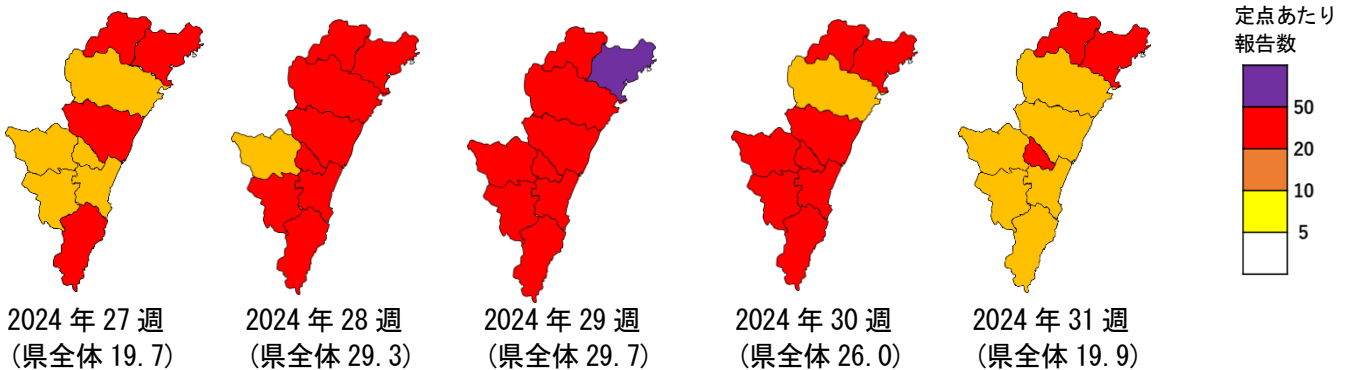
新型コロナウイルス感染症  
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 27 週～2024 年第 31 週



\* 県独自の基準によるもの

### □ 全国第 30 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

7 月 22 日～7 月 28 日までの 1 週間で 72,003 人(14.6)の報告があった。前週比 107%と増加し、佐賀県(31.4)、宮崎県(26.0)、熊本県(25.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。